

編集後記

ミレニアムという記念する年に、ヒトゲノム計画が大きな節目を迎えるなど、サイエンスの分野でも新しい時代が始まろうとしています。ポストゲノムということで日本を含む各国でスタートしている構造ジェノミクスプロジェクトも、これまで以上に進展していくことと思います。それらの成果が創薬という分野に大きなインパクトを与えるものになることは間違いありませんが、それ以外にも構造決定のためのハイスループット化における結晶化や構造解析における技術革新も個人的には興味深いところです。

先号から、ビームラインアシスタント紹介のコーナーができました。私は日頃、企業メンバーとして実験を行っている際、アシスタントの方にはいろいろお世話になっていましたが、ほとんど話す機会がありませんでした。この誌面を通じて、交流を深めることができればと思います。

今後もできるだけ広い視野を持って、読者の方が親しみやすい誌面作りを心がけて行きたいと思います。執筆者をはじめとする皆様のお力添えをよろしく願いいたします。

(S. S.)

編集委員会

委員長	石川 弘紀 (味の素)	kohki_ishikawa@ajinomoto.com
委員	栗原 宏之 (山之内製薬)	kurihara@yamanouchi.co.jp
委員	曾我部 智 (日本ロシュ)	satoshi.sogabe@roche.com
顧問	田仲 可昌 (筑波大)	ytanaka@sakura.cc.tsukuba.ac.jp